

5 概 況

下水道事業会計の業務実績を見ると、当年度の処理区域内人口が 26,272 人で、行政区内の普及率（下水道普及率）は 52.5%となっている。また有収率は 76.8%で前年度比 6.5 ポイントの増となっている。

詳細については、「6 業務実績について」に記述している（P21～22）。

経営成績を見ると、当年度純利益は 226,169,720 円で前年度と比較して 20,241,949 円（9.8%）の増となった。この主な要因は、他会計負担金の増による営業収益の増、長期前受金戻入の増による営業外収益の増によるものである。

詳細については、「7 経営成績について」に記述している（P23～25）。

当年度の財政状況を見ると、資産は有形固定資産の減価償却累計額の増により、前年度と比較して 70,992,299 円（0.3%）の減となっている。また、負債は固定負債の企業債や流動負債未払金の減等により、前年度と比較して 356,524,019 円（1.6%）の減となっており、資本は純利益の計上や他会計からの出資等により、前年度と比較して 285,531,720 円（12.3%）の増となっている。

詳細については、「8 財政状況について」に記述している（P26～30）。

下水道使用料の収入状況を見ると、現年度分の収入率は 90.4%、繰越分の収入率は 93.9%となっている。

詳細については、「9 収入状況について」に記述している（P31）。